

県政報告駅前版 令和4年2月号
千葉県議会議員 農林水産常任委員長
小池まさあき
自民党千葉県連政務調査会 副会長



令和4年度一般会計は2兆1,723億円 新総合計画も策定へ

県の令和4年度の予算は、一般会計が2兆1,722億6,500万円（前年比+10.2%）で、当初予算としては過去最大となりました。このうち、新型コロナウイルス感染症対応経費として3,351億円を計上し、引き続き感染症対策に万全を期すとともに、新しい総合計画の初年度に当たり各項目に予算を配分しています。

新しい総合計画は、「新しい千葉の時代を切り開く」として、県民の命と暮らしを守る視点から「危機管理」「産業・社会資本」「医療・福祉」「子ども」について基本目標を設定し、多様な個性が力を発揮できる社会をつくる視点から「共生」、また千葉県が培ってきた財産を守り活用する視点から「自然・文化」についても基本目標を設けて10年後の目指す姿を

令和4年度における新たな総合計画推進のための予算

示しています。

今後の大きな課題としては、「人口減少・少子高齢化への対応」、「医療・福祉ニーズの増加」がありますが、「デジタル社会の推進」と「SDGsの推進」も強力に進めなければなりません。

危機管理体制の構築と安全の確保	1,342 億円
千葉経済圏の確立と社会資本の整備	5,482 億円
未来を支える医療・福祉の充実	340 億円
子どもの可能性を広げる千葉の確立	943 億円
誰もがその人らしく生きる・分かり合える社会の実現	27 億円
独自の自然・文化を生かした魅力ある千葉の創造	78 億円
合 計	8,212 億円

課題が山積する中で、世界の潮流を掴み、持続的に発展を遂げる千葉県を実現するために、必要な政策の実現を強く求め行動して参ります。

臨時医療施設 後手対応を指摘 ようやく3か所目が開設へ

新型コロナウイルス感染症が国内で初めて発見された直後の令和2年4月、千葉県として「県民の命を守る」ために臨時医療施設の開設を求め、未知の感染症への対応として幕張メッセを活用したいいわゆる“野戦病院”的な施設が必要である」とその設置を求めました。その後、感染状況は一旦落ち着きましたが、再度の感染拡大と、あらゆる災害にも対応可能な臨時医療施設について機動的に対応できる臨時医療施設の準備を求めてきました。

そして千葉県は、昨年2月に旧がんセンター病棟を活用した臨時医療施設最大60床を開設しましたが、昨年夏の第5波では残念ながら十分な機能を果たなかったという事実があります。

これに対して、引き続き臨時医療施設の開設を強く求めてきたところですが、去る本年2月3日になってようやく新たに稲毛臨時医療施設の稼働を開始、また流山市において3か所目の開設準備が進められ、更に成田市近郊でも必要に応じて設置の検討が進められています。

これまで県の対応が後手になっていることを強く指摘してきましたが、真に「**県民の命を守る**」ためにも、
平時の医療体制と合わせて、
いざ**“有事の際の医療体制”**
が機動的に整えられるよう
に、引き続き体制の強化を強く
求めてまいります。

施設名	場所	病床数	開設日
仁戸名臨時医療施設	千葉県がんセンター旧病棟（千葉市中央区仁戸名町）	60床	令和3年2月5日
稲毛臨時医療施設	ちばぎん研修センター（千葉市稲毛区長沼町）	110床	令和4年2月3日
流山臨時医療施設	流山市民総合体育館（キッコーマンアリーナ）流山市野々下	56床	令和4年2月17日

昨年6月に八街市で発生した児童5人が死傷する飲酒運転事故を受けて、自民党会派では飲酒運転撲滅プロジェクトチーム（PT）を発足させ条例制定を視野に活動を開始、私、小池まさあきが座長として条例の策定作業を行ってきました。そして、PT発足から半年という短い期間でしたが、去る12月議会において「千葉県飲酒運転の根絶を実現するための条例」を提案、全会一致で可決し本年1月1日より施行されています。

この条例は、県民と飲食店などに対して、飲酒運転の恐れがある場合には警察へ通報することや、事業者アルコール検知によりエンジンがかからない“インターロック装置”等の設置を進めることが盛り込まれています。

併せて通学路の一斉点検も行われましたが、多くの通学路において危険箇所が存在していることが浮き彫りとなりました。

この通学路の安全対策については、各地域から寄せられている要望に真摯に向き合い、必要な対策を講じていかなければなりません。

今後は、罰則規定を盛り込む条例改正を視野に活動を続け、併せて歩行者の安全確保のための交通安全施設の整備に一層力を注いでまいります。

条例の主な特徴

- ・県民及び飲食店等の事業者は、飲酒運転をしている又は疑いのある者を発見したときは、警察官に通報するよう努める。
- ・事業者は、車両運行時において「飲酒の有無の確認」を行い、アルコール・インターロック装置を含む「アルコール検知器」を活用するよう努める。
- ・イベント等の主催者は、参加する者に対し、飲酒運転の根絶に関する啓発等に努める。
- ・県は、飲酒運転の根絶に関する教育の充実、知識の普及のための広報・啓発を行う。
- ・県は、関係団体等により構成される千葉県飲酒運転根絶連絡協議会を設置し飲酒運転の根絶を目指す。

千葉県ワクチン追加接種センター 予約受付中

場 所 モリシア津田沼（習志野市谷津1-16-1）
 ワクチン モデルナ社製
 期 間 2月15日（火）～3月31日（木）

接種予約
QRコード



ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症の第6波が続いていますが、今回のオミクロン株は、重症化リスクは低いものの、高齢者で基礎疾患のある方は重症化リスクが増加し、死に至る事例も多数報告されています。また、保育園や幼稚園、学校における感染も拡大し、多くで休園や休校措置が取られました。

直近では、減少傾向に転じていると見られますが、依然として毎日多くの感染者数が報告されています。

皆様には「まん延防止等重点措置」の延長でご不便をおかけしていますが、引き続き感染防止に留意した行動をお願いいたします。

千葉県議会議員 小池正昭

小池まさあきの活動ブログ 毎日更新中

小池まさあき 検索

Facebook と Twitter でも情報発信中！ SNS で小池まさあきと交流してみませんか！

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
 E-mail koike@ngy.3web.ne.jp